

2018年
242号
7月18日(水)



全日本年金者組合越谷支部
〒343-0845
埼玉県越谷市南越谷2-13-49
(越労連内)
TEL・FAX 048-989-2472
E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp

自治体要請キャラバン

越谷市と懇談

社会保障推進協議会は、2018年自治体要請キャラバンの一環として、6月27日(水)越谷市との懇談を実施しました。

当日は越谷市職員16名、当方は越谷社保協の役員を中心に参加者36名で懇談を行いました。

①必要な介護サービスを誰もが受けられるように、行政が責任を持ち人材確保、財政支援をして欲しい。

(市)現行相当のサービスを維持すると同時に、多様なサービスが充実し、サービスの選択肢が増えること認識している。また、高齢化により人材確保が大きな課題と認識している。

(吉田支部長)介護職員が定着しないのは、給料が安いのと将来の人生設計が今のままでは成り立たないのが問題で、処遇改善が必要ではないか。

(市)介護職員の離職防止を目的とした介護相談窓口を設置しました。

②障害者が地域で暮らせるための施設、サービスを整備拡充して欲しい。

(障害者と暮らす方)生活サポート事業を利用しているが、1時間950円と高いので安くして欲しい。

(社保、伊東さん)JR南越谷駅が、始発から7時まで無人となり、障害者の方が困っている。

(市)把握していないので、担当課に言いJRに話をしたい。皆さんからもJRに話をしたい。

③国保の強制徴収が越谷市も多くなっているが、生活困窮者からも強制徴収しているのか。

(市)今回、市の徴収窓口が収納課になり、他の税金等も勘案し徴収可能な方から徴収していません。

ら徴収していません。
の確保。④保育所の増設と保育士の確保。⑤生活保護を利用しやすくして欲しい。⑥国保税を値下げして欲しい。主として以上の6点について市から説明を受けました。

その他、生活保護加算に夏のクーラー費を加算してはどうかなども要請しました。今後も懇談を続けて行くことを確認し、12時に懇談会を終了しました。

(和田)



埼玉県本部 第30回定期大会開かる

7月13日(金)与野本町コミュニティセンターで県本部の定期大会が開催されました。各支部から134人の代議員が出席し10時から16時30分まで議案の審議を行いました。越谷支部からは五十嵐書記長、足立副支部長、吉田(正)書記次長が出席しました。

(五十嵐)

点 睛

原爆投下から 73年を振り返る

今全国で平和行進が行われています。73年前、広島と長崎に原爆がアメリカによって投下されました。10万人以上の国民が亡くなられました。さらに放射能を大量にあびて多くの「犠牲者」を出しました。現在も被爆の影響で苦しんでいる国民はいっぱいいます。身体も心も家族も引き裂かれ言葉では言い表せない状況です。

原爆反対、核兵器の製造・使用の反対は世界でただ一つの戦争被爆国の日本は世界の先頭に立って運動しなければなりません。戦後73年、戦争と原爆反対の声は国民全体の問題です。

今から67年前、私が小学校3年生の昭和25年頃(現在の越谷市立蒲生小学校)教室いっぱいには広島原爆投下の被爆状況(地域、人体、治療の状況)の写真が張り出してありました。私はまともに見ていたら「はきけ」がおそい、苦しかつた事は今でも忘れません。私はその時から戦争はしてはいけない、原爆や核兵器の使用は絶対いけないと思っていました。

20才になり平和運動にのめり込みました。広島、長崎の原水禁世大会には何回も参加してきました。現職時代は労働組合の委員長として積極的に運動してきました。毎回広島、長崎に組合代表を複数送ってきました。さらに新組合員教育の一環として同行し参加してきました。

(その運動は現在も続いています)
定年後(2002年)全日本年金者組合に加入しました。ただちに執行委員、書記次長、書記長、副支部長、支部長の役職を続けてきました。同時に越谷市の平和行進にも連続して参加してきました。

7月8日の平和行進の出発集会で、「今年も戦争はさせない、核兵器・原発再稼働反対、憲法9条改悪させない。そして、私たちの生活の源である年金の切り下げは絶対ゆるさない。この運動と結びつけて全力をつくします」と挨拶しました。

(吉田健治)